

「地域経営資源継承支援事業 活用事例紹介 中村 駿人さん（普代村）」

（執筆者 久慈農業改良普及センター 菊地 雄大）

普代村で、雨よけほうれんそうを生産している中村駿人さん（27歳）を紹介します。

中村さんは、県立農業大学校の出身で、大学卒業と同時に普代村の先進農家で1年間研修し、平成27年に就農しました。就農2年目の平成28年度に地域経営資源継承支援事業を活用して中古ハウス2a分を移設し、その後規模拡大を進め、現在はハウス22a、露地20aで生産しています。

中村さんは、事業活用した当時を振り返り、「就農したばかりで自己資金が少なく困っていたころに、負担が少なくハウスが導入できて大変助かった。これをきっかけに順調にハウスを増やしていくことができた。」と語っています。

現在、中村さんは、手塩に掛けて栽培したほうれんそうをJAに出荷するほか、ふるさと納税の返礼品としても提供するなど、普代村の活性化にも尽力しています。また、魅力ある普代村産のほうれんそうをPRするため、今後は久慈地域外への産直等にも販路を広げ、様々な売り先を確保していくようです。

昨年に結婚し、お子さんが生まれた中村さん。今後の活躍が大いに期待されます。

（事業内容）

- ・中古ハウス1a×2棟
- ・ハウスビニール・散水セット



事業を活用して導入したハウス



冬季間中は立派な寒締めほうれんそうを栽培